

鉛給水管の早期撤去を促せ!

松本議員 北陸において鉛給水管の撤去遅れが指摘されている。古くなった鉛給水管は、水道水が長時間滞留すると鉛が溶出するため、人体に被害を及ぼす可能性がある。七尾市における使用実態と対策等について、どうなっているのか。事業者の聞き取りによる把握、または外観や水質検査等で調べる事ができるのか。そして、各家庭への対応策についてはどうか。

清田建設部長 鉛給水管は昭和40年代後半から平成元年まで使用され、その後、衛生対策面から現在は塩化ビニール管等の材質を使用。平成26年度末現在、七尾市全体で22,600世帯に給水しているうち、鉛給水管を使用しているのは約4%で850世帯。今後は、配水管更新時や下水道工事等に伴う布設替えの工事、また給水管漏水等の修繕時に撤去・改修をして使用低減に努める。使用実態については、宅内配管施工業者や給水指定業者等に依頼することで把握可能。水質検査等についても専門の検査機関で調査は可能。各家庭においては、出し始めの水は飲用以外での使用を勧めるよう、個別での対応を行う予定。



家庭の水道

その他の質問項目
■マイナンバー ■給茶器撤去(公立能登総合病院)

早期に医師不足の解消を!

高僧議員 公立能登総合病院は、今年度の病院経営が3年ぶりに赤字になる可能性が出てきたが、依然として医師不足や医療技術不足で厳しい環境である。このような状況で質の高い地域医療は確保できるのか。特に麻酔科の医師が不足し、眼科医の手術等が出来ていない。また、奨学金によって医学生が地域枠で能登地区の病院へ配置されるようだが、これで病院の医師不足が解消されるのか。

吉村病院事業管理者 医師不足は当院の喫緊の課題。現在、麻酔科は常勤1人であるが、非常勤だが、平成28年4月から常勤2人の派遣を検討している。眼科は医局員が減少し、能登地域への派遣も削減され厳しい状況。今後も大学へ協力をお願いし、早急に手術体制の整備を行いたい。また、奨学金による地域枠について、医師免許取得後3年目の医師が平成29年度に5名、以後毎年10名ずつ能登北部の4つの自治体病院に総合診療医として派遣される予定。しかし、小児科と産婦人科を希望する医師のなり手が少ないため、希望する医師がいれば順次派遣される可能性があり、何とか確保していきたい。



公立能登総合病院

その他の質問項目
■防災対策

矢田郷公民館の早期整備を!

佐藤議員 矢田郷公民館は、老朽化によって大規模改修で対応する提案が以前にあったが、公共施設の耐震化を優先とのことで、現在も未定の状況。矢田郷地区は市内最大の地区で、公民館は来年度からコミュニティセンターに移行し、地域の活性化等に向けて取り組んでいるが、これまでのスペースでは手狭で1日も早い活動拠点が必要。現在使用している七尾サンライフプラザについて、コミュニティセンターとしての活動場所の拡大、確保も含めて活用する考えはないのか。

不嶋市長 七尾市では、七尾市公共施設等総合管理計画を作り、公民館等の公共施設の維持管理や施設の統廃合、複合化などが必要と位置付けている。七尾サンライフプラザは、従来の矢田郷公民館の機能はもちろんであり、矢田郷地区はコミュニティセンター化への舵も切っていた。このため、移行後も地域の中核施設としての機能や規模が十分に確保できる魅力的な施設だと捉えている。今後、内部において、レイアウトも含め選択肢の一つとして、しっかりと検討していく。そして、地域の方としっかりと協議を進めて、早く要望に応えられるよう検討していきたい。



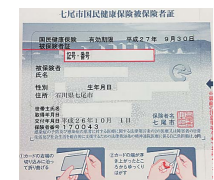
七尾サンライフプラザ

その他の質問項目
■ヘルスツーリズム ■ワークライフバランスの推進 ■臨時職員の待遇改善 ■パトリア

国保税の引き下げ再検討を!

磯貝議員 政府は国保財政の安定化として2015年から自治体支援制度を拡充するとして、消費税増税分から1,700億円積み増すことに。①七尾市では、この制度で交付金予定額はいくらになるのか。②この制度を国保税引き下げに活用した場合、世帯および被保険者1人当たりでどれだけの国保税の引き下げが可能なのか。③制度を利用し、国保税の引き下げを実施する考えはあるのか。

登美健康福祉部長 ①国からの支援交付金は平成27年度で約1億2,993万9千円となり、昨年度に比べ8,338万6千円が増額となる見込み。②保険者支援制度拡充分の8,338万6千円を4月1日現在の8,667世帯で割ると、1世帯あたり年間9,621円、被保険者14,086人で割ると一人当たり年間5,920円となる。③平成26年度加入者は14,447人で、65〜74歳の割合が46%と高齢化が進んでおり、一人当たりの給付費は平均32万2,759円で前年度と比較して17,456円増。制度の拡充を考慮しても国保財政の運営は厳しい現状。当市としては、安定的な財政運営を続けるためにも、今は国保税を引き下げる状況ではないと考えている。



国民健康保険被保険者証のみほん

その他の質問項目
■地方創生 ■子育て支援 ■志賀原発 ■鉛給水管 ■七尾外環状道路整備

パトリアの今後のあり方は!?

山崎議員 現在、パトリアの運営・経営状況等について、株主である七尾市はどのように認識しているのか。パトリアに対して、行政も支援すべきと思うが、公的資金については投入すべきではないと考えるが見解を伺う。また、出資者として七尾市が市民や企業、団体などにパトリア支援や駅前中心市街地の活性化を自主的に応援していくことを求めていく状況だと考えるが、どのように考えているのか。

不嶋市長 パトリアの経営は、テナントの空きもあり本当に厳しい状況。今後、パトリアの運営の在り方や会社の経営方針について、しっかりと協議し、政策判断としての支援策は何かあるのかと検討していきたい。公的資金の投入は、一義的に株式の範囲内で責任をとるものとすれば、パトリアの運営会社に対して、公的資金の投入は出来ないかと考える。パトリアは、七尾駅前の顔であり市民の台所でもあるため、パトリアの運営方針等について企業や団体など関係者と協力し、そのなかで政策支援として七尾市がどこまで出来るのかをしっかりと判断して、市民と共にパトリアを支えていく形での利用を図られればと考えている。



七尾駅前の商業施設 パトリア

その他の質問項目
■ノーマイカーの設置による市内経済活性化 ■七尾港天田新旅客ターミナルの活用支援策 ■テロ等危機管理対策 ■プレミアム商品券

図書館の効果的な運営を図れ!

荒川議員 七尾市では平成42年までの15年間を期間計画とした七尾市公共施設管理計画を策定し、今後の公共施設の適正配置と実現を目指している。その中の一つとして図書館があり、商業施設や文化施設と複合した大きな施設が2つ、市民センターなどに配置された施設が2つある。これらは利用が少なく、一般財源の大きな図書館もあり、効果的な運営と利用者の増加を図る必要がある。また、図書館は住民にとって必要な情報をスピーディーに提供し、常に進化させていく必要もあり、住民の声も聞きながら取り組んでいただきたい。そこで、市内の図書館全体の施設改革の考え方について伺う。

近江教育長 市内には中央図書館、本府中図書館、田鶴浜図書館、中島図書館がある。そのうち本府中図書館は中央図書館と近距離に位置し、機能や利用者構成も似ている。そのため、公共施設の適正配置の観点からみると、現段階ではまだ具体的な集約計画はないが、おおよそ似通った中央図書館と本府中図書館については検討を加えていきながら、今後検討策を講じていきたい。



中央図書館

その他の質問項目
■寄付、資金調達 ■移住策と雇用の創出 ■歴史資源を生かしたまちづくり